

[議題4]

市道相武台47号のバリアフリー型歩道への整備促進及びキャンプ座間内道路の相互利用について

[質問の具体的内容]

市道相武台47号の歩道整備については、昨年度、一昨年度と提案しており、今年度には調査費が予算計上されたと伺っている。これは、整備に向けての第一歩と確信しており感謝している。

継続しての提案なので、市も十分承知しているとは思いますが、当該道路の歩道は安全確保が十分とは言えず、特に朝夕の通勤・通学時間帯は、歩行者のみならず自転車利用者も危険にさらされている状況にある。また、相武台地区のまちづくりを進める上でも、この道路の整備は欠かせないものと考えている。

バリアフリー型の歩道が確保された道路が一日も早く整備されるよう期待している。

あわせて、キャンプ座間のゴルフ場側道の共同利用についても、市道相武台47号の自動車交通量軽減のため、早期実現へ向け取り組まれるようお願いしたい。

[回答]

- ・ 市道相武台47号は平成18年度の地域市政懇談会からご要望をいただいている。
- ・ 今年度は、調査委託業務を発注し、現在、委託した専門業者に現地の調査及び整備の方法等について調査をさせている段階である。
- ・ その調査及び整備方法の検討が終わった段階で、地域の皆さまへ整備方法についての提示を予定している。
- ・ 拡幅整備になると思うので、いろいろなご意見が出ると思うが、いずれにしても、地域の皆さまにお示ししてご意見をいただき、市で再度検討することを考えている。
- ・ 基本的な点がご了解いただければ、来年度は測量ができるような体制をとり、どこにどのぐらいの面積がかかるのか、どれだけ家に影響があるのか等の把握ができると思っている。
- ・ いずれにしても、現地調査が終わり、具体的な整備方法等の検討が終わった段階で地域の皆さまと話し合いを行う段取りで考えているので、その際にはぜひご協力をよろしくお願いしたい。
- ・ キャンプ座間内のゴルフ場外周道路については、共同使用について、自治会連合会や様々な団体の皆さまにご協力をいただいて設立した市米軍基地返還促進等市民協議会と市が一緒になり、国や米軍に対して返還を求めてきた。
- ・ こうした中、平成18年に基地の負担軽減を求める本市の求めに応じ、返還等に向けて米軍との協議を行うことを当時の防衛庁長官が約束したところである。
- ・ これを受け、市としては米軍との具体的な協議を行うのに必要な測量調査や、どのような道路であれば市が使いやすいのか、あるいは地域で使いやすいのか、道路の概略設計等を行っている。
- ・ これに基づき、国と米軍と市の3者でこれから協議や調整等を行っていくことになる。
- ・ 相手が米軍なので、簡単に結論が出る話ではないだろうと思っているが、市米軍基地返還促進等市民協議会の皆さまのご協力等をいただきながら、調整ができるよう取り組んでいくので、よろしくお願いしたい。
(道路整備課、渉外課)

[議題4に対する質問等]

<質問等>

- ・ 地域ではキャンプ座間内のゴルフ場外周道路については、返還を求めているのではなく、共同

での使用を考えている。

- ・ ぜひ力を入れていただき、相武台地区に目を向けて、子どもたちのためにお願いしたい。

<質問等>

- ・ 今後の時間的スケジュールを聞かせていただきたい。

<回答>

- ・ 市道相武台47号の今年度事業は、現地の調査と整備方法の検討だが、細かいところまで検討しないと庁内にある程度まとまったものにならないと思うので、少し時間をいただくことになる。
- ・ しかし、今年度の事業なので今年度中には提示したいと思っており、なるべく早く対応できるように今進めているところである。
- ・ いずれにしても、皆さまに提示をする際には、あらかじめ自治会長等に連絡をして日程等を調整することになると思っている。
- ・ 米軍基地の測量調査・概略設計についても今年度中の仕事である。